



みちとくちのえ

小倉・黒崎・東田からはじまる街並みの未来

2050 まちづくりビジョン

# 行動指針

# 目次

## 1. はじめに

- ▶背景・目的
  - ・策定の背景 . . . . . 1
  - ・まちづくりビジョンとは . . . . . 1
  - ・行動指針とは . . . . . 2
- ▶まちづくりの進め方
  - ・官民連携による取組 . . . . . 3

## 2. 小倉地区

- ▶2050年まちのビジョンとまちづくりの方針 . . . . . 5
- ▶行動指針 . . . . . 7

## 3. 黒崎地区

- ▶2050年まちのビジョンとまちづくりの方針 . . . . . 19
- ▶行動指針 . . . . . 21

## 4. 東田地区

- ▶2050年まちのビジョンとまちづくりの方針 . . . . . 33
- ▶行動指針 . . . . . 35

## 5. おわりに

- ・「まちづくり」と「航海」 . . . . . 47

## 策定の背景

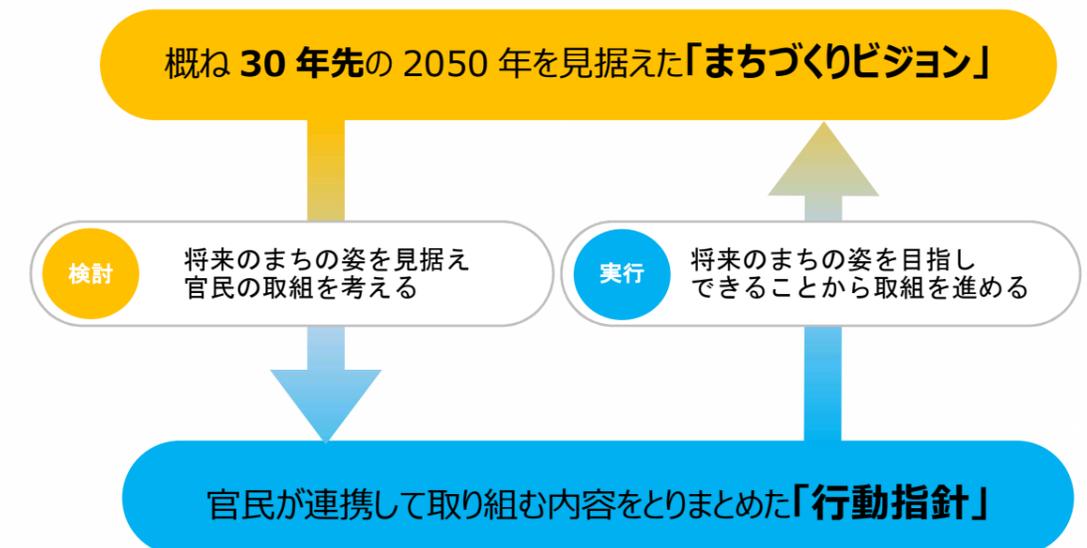
- ・人口急減、超高齢社会を迎えるなか、持続可能な都市形成のためには、官と民が双方の特性や強みを生かし、効率的な都市整備や都市運営、生活・経済拠点の魅力向上を図ることが重要です。
- ・そこで、官と民が将来に向かってまちのビジョンを共有し、双方が連携し、同じ方向に向かってまちづくりに取り組み、持続可能な都市形成や多様化する様々なニーズに対応できる魅力ある都市づくり、個性ある地域づくりを進めていきたいと考えています。

## まちづくりビジョンとは

- ・小倉・黒崎・東田の3地区において、概ね30年後の2050年を見据えた、将来のまちの姿を描きました。
- ・市にとっては、市が考える将来目指すまちづくりの方向性についての「メッセージ」として、民間事業者にとっては、まちづくりへ投資を行う際の重要な「判断材料」として、また、市と市民や民間事業者が互いにベクトルを合わせて、将来に向かって同じ方向へ歩んでいくための「羅針盤」となるものです。

## 行動指針とは

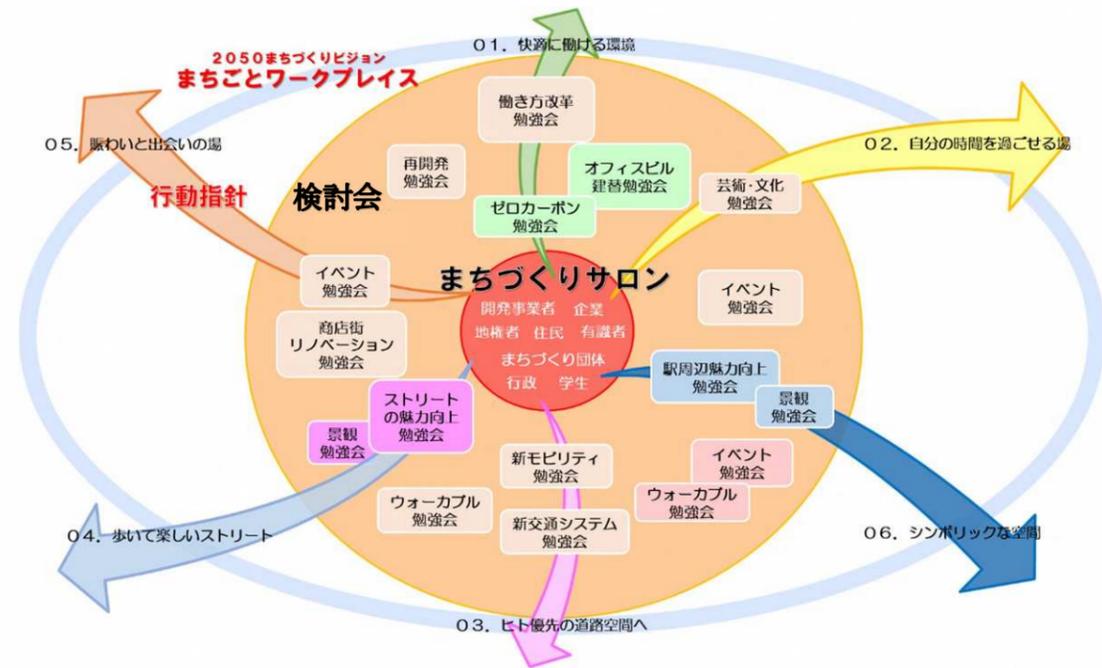
- ・まちづくりビジョンの実現に向け、官民で何をすべきか、その行動を明確化するため、官民が連携して取り組むべき内容を行動指針として明示することで、今後の具体的な取組に結び付けます。
- ・行動指針のなかには、関係者の合意形成や制度の改正、技術革新など、時間をかけて取り組むものもありますが、挑戦なくしては、理想のまちにはたどり着きません。
- ・将来のまちの姿を見据えつつ、まちの課題を捉え、官民が協働してまちづくりに取り組みます。
- ・これまでの30年間で大きく時代が変わりましたが、これからの30年間は、2050年に向けた脱炭素化やDXの進展など、これまで以上に、劇的に変わることが予測されます。
- ・このため、時代の変化に合わせ、取り組むべき内容に変更や新規追加の必要性が生じた場合は、行動指針も臨機応変に、見直しを行います。



【行動指針とまちづくりビジョンとの関係】

### 官民連携による取組

- ・まちづくりを進めるにあたっては、住民、自治会、まちづくり団体や企業等まちに関わる様々な方とビジョンの共有や地域のニーズ、課題などについて意見交換することで、これまで以上に官民の連携を深め、信頼関係を築きます。
- ・官民が将来のまちの姿を共有して、行動指針をもとにまちづくりについて議論することで、具体的な取組へと結びつけます。
- ・エリア別、テーマ別にまちづくりの機運を醸成させる段階、具体的な取組に向け事業計画を検討する段階などにおいて、意欲あるステークホルダーと議論を深めることで、できることから柔軟に様々な取組を進めます。



【まちづくりビジョン実現に向けたまちづくりの展開（小倉地区の例）】

### ＜進め方のイメージ＞ ※取組に応じて進め方や参加者は変更します。

#### 1. ビジョン共有・情報交換（例）まちづくりサロン

- ・まちに関わる様々な方を対象にまちづくりビジョンの共有・浸透、まちづくりの情報交換などを行います。
- ・意思決定を行う場としてではなく、まちづくりについて自由に意見を交わします。
- ・まちづくりへの参画マインドを喚起します。

#### 2. 具体的な取組に向けた検討（例）ウォークアブル検討会等

- ・それぞれのステークホルダーがエリア別、テーマ別に様々な検討会を開催し、具体的な取組を検討します。
- ・内容に応じて参加者は柔軟に変更します。
- ・プレイヤー（実際に事業に取り組む主体者）の明確化、必要に応じてプレイヤーとなる方々の意欲喚起を行います。

#### 3. 事業計画策定

- ・プレイヤーが具体的な取組を実施するための計画を策定します。
- ・計画策定時においてもステークホルダー等との連携を行います。

#### 4. 事業実施

- ・プレイヤーができることから順次、まちづくりの取組を進めます。

